

参考資料 7 キオスク型給水施設の写真及び説明



現在使われている蛇口式の給水施設
(キオスク型給水施設へと改設される)

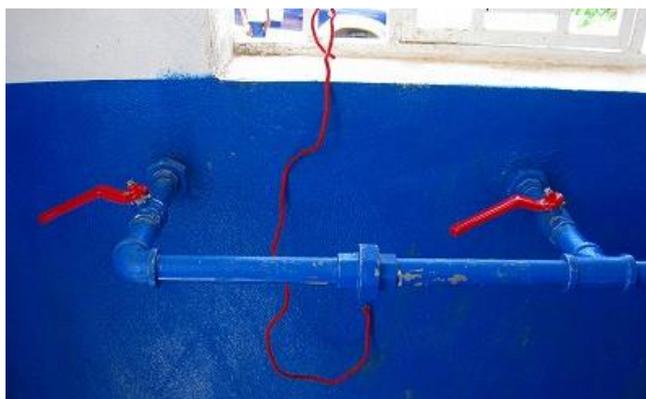


(1) 前事業でJENが建設したキオスク



(2) 各キオスクに3~4つの蛇口がついている

(3) 水の供給はキオスクの中にある管理人
によってコントロールされる。





(4)住民は1バケツにつき1グルド(0.02米ドル)を窓越しに管理人に対して支払う。(バケツ毎徴収の場合)



(5)管理人は常に中におり、水の供給と支払を管理する。水利用料の25%を管理人が受け取り、75%は水管理委員会が管理する。



(6)キオスクの中に水量の測定器を置き、週1回水管理委員会が水量と利用料の合計額を確認する。

キオスク型給水所の利点

- (1)水管理委員会及び管理人(給与が支払われるため)の負担が少ない。
- (2)利用料の徴収がより確実に行えるシステムであるため、長期的な水管理委員会自らによる維持管理が期待できる。
- (3)水の供給がコントロールできるため、水の無駄遣いも防げ、給水所が管理される事により水因感染症の予防にもつながる。

